

被災地の自然を 復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

「東松島セブンの森」の海岸防災林再生活動
(宮城県)

東日本大震災復興支援

東日本大震災復興プロジェクト

2011年6月よりセブン-イレブン加盟店、本部社員をはじめ、セブン&アイ・ホールディングスグループ社員による東日本大震災復興ボランティア活動を実施しています。



牡蠣の耳吊り

2011年には宮城県気仙沼市「九九鳴き浜」の海岸清掃、2012年からは気仙沼市唐桑町の漁業支援と、大崎市鳴子温泉で健全な森づくりを目指した「宮城セブンの森」づくりを行い、「森も海も蘇る活動」を実施しています。

東北に緑を！ セブン-イレブンプロジェクト

被災地の子どもたちに元気になってもらうことを目的に、2012年3月から県の教育庁の協力を得て、岩手県・宮城県・福島県の津波の影響を受けた小学校に、春夏、秋冬の年2回、花苗などをお届けし、児童の植花活動を支援しました。



岩手県大船渡市立越喜来小学校

〈2012年～2019年春夏〉
学校数 延べ2,827校
花苗 1,456,933個
総額 2億2592万2298円
(2020年2月末日現在)

自然災害復興活動

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

2004年9月の台風18号により支笏湖周辺の国有林7,000haが根こそぎ倒れるという甚大な被害が発生しました。セブン-イレブン記念財団は、北海道森林管理局・石狩森林管理署と森林再生



夏の刈り

の協定を締結し、2006年に北海道の市民による100haに10万本の植樹「森の育て親の活動」を実施。2009年からは、「NPO法人支笏湖復興の森づくりの会」を支援するとともに、「支笏湖セブンの森」づくりを継続して行っています。

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭を設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。



義援活動(1994年8月～2020年3月)
総額 52億9013万7758円
※義援金51億4677万1650円、
支援金1億3626万6108円、見舞金と
物品710万円 (2020年3月末日現在)